

# 大宮神社社報

社報第21号  
大宮神社  
旭区大宮  
三の一の三七

## 平成三十年 夏季大祭

七月二十一日 土曜日 十一時 献湯神事  
二十二日 日曜日 十一時 夏季大祭  
神楽奉納（拝殿・昇殿）午後三時～九時

夏祭は七月の第四日曜日とその前日土曜日の二日間です



暑い盛りの七月末、当社では例年通りに夏祭を斎行します。宵宮には献湯神事、本宮には夏季大祭を執り行います。神楽奉納は拝殿昇殿にて承ります。地車巡行など神賑行事の詳細は、境内掲示にてお知らせします。

### 夏祭神饌料を承ります

夏休みの楽しい思い出に皆様でお詣りください。夏祭神饌料を承ります。祭当日に拝殿・昇殿にて神楽奉納、撤下品を授与します。奉納者名を境内の掲示板に掲示します。受付は社務所まで。



右上・献湯神事の巫女舞

左上・拝殿で神楽奉納

左中・大宮地車宮入

左下・中宮地車宮入

### 秋祭神輿お渡り奉仕者の募集

平成三十年十月二十七日(土)  
午後二時三十分集合(予定)



貴重な神事に皆様でご参加ください。奉仕者にはおそりの法被をご用意します。当日は神社にてお祓いの後に出発、大宮地区を約二時間巡幸します。台車に乗せた神輿を引き綱で引くので、年齢男女問わずどなたでもご参加いただけます。巡幸後は神社にて直会を行います。神輿巡幸は大宮みこし会の子どもみこし巡行と合わせて執り行います。詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。

### 七夕かざり

今年も境内で育てた笹を使って笹かざりをします。色とりどりの短冊にお願い事をお書き下さい。七月三日から七日まで。

### 神道まめちしき 神様にまつわることわざ

ことわざは「諺」と書き、古くは古事記に見られる語です。語源は一説によると「こと(言)」は言葉、「わざ(業)」は神意の宿るものを意味し、「諺」とは神意の宿る言葉であるといえます。親しみある表現で教訓や風刺を伝えることわざ。神様にまつわることわざを紹介します。

【捨てる神あれば拾う神あり】世間には自分を捨てる人もいれば拾う人もいます。【苦しい時の神頼み】普段は神様を拝まない人も辛い目にあった時に神に助けを求めようとすると人間の身勝手な様子。【正直の頭(こうべ)に神宿る】正直者は必ず神様のご加護に助けられる。【神はお見通し】神様には嘘偽りは通じない。類似語に「お天道様はお見通し」【神も仏もない】神も仏も存在しない。転じて無慈悲で薄情な様子。類似語に「血も涙もない」【神は人の敬いによって威を増す】神様は人の崇敬によって威光を増す。神社崇敬を重んじた鎌倉幕府の掟「御成敗式目」にも「神は人の敬ひによって威を増し、人は神の徳によって運を添ふ」とある。



### 祈祷案内

初宮詣 七五三詣  
家内安全 厄除 病氣平癒 自動車祓  
改築・転宅清祓 地鎮祭など出張祭典  
お電話にてご予約下さい

☎06(6951)2196